

市長提出議案

前ページから続き

補正予算を可決

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億4298万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額は、それぞれ214億325万4000円となりました。

また、平成28年度から31年度を期間とする吉川美南駅東口周辺地区企業誘致活動支援業務委託事業の債務負担行為が、2100万円で定められました。

なお、特別会計の補正予算は、下表のとおりとなっております。

●特別会計補正予算

(単位：千円)

| 会計別    | 補正額     | 歳入歳出予算総額  |
|--------|---------|-----------|
| 国民健康保険 | 158,780 | 8,756,948 |
| 介護保険   | 130,283 | 3,472,984 |

一般会計補正予算

こんなことに使われます

保育委託事業

1億6334万円

新設する民間保育所の整備事業に対する補助金の交付等を行います。



窓口電算機管理運営事業

4679万1000円

コンビニエンスストアにおける証明書等の交付サービスを実施するための電算システムを導入します。

環境保全推進事業

262万円

地球温暖化対策に対する取り組みの普及啓発活動を行うためのものです。



吉川市新庁舎建設工事を締結

吉川市新庁舎建設工事（建築工事・電気設備工事・機械設備工事）について、請負契約を締結します。



吉川市一般職の任期付職員採用等に関する条例

専門的な知識経験を有する者等を採用するため、任期を定めた一般職の職員の採用及び給与に関し、必要な事項を定めます。

人事案件

◆教育委員会委員

9月30日をもって任期満了となる西山祐照氏の後任として、「小林照男氏」が選任されました。

討論

平成27年度一般会計決算に対し、3名の議員が討論を行いました。その概要を討論者が要約してお知らせします。

反対

日本共産党  
吉川市議員団  
遠藤 義法

賛成

市民の会・無所属  
稲垣 茂行

賛成

公明党  
吉川市議員団  
五十嵐恵千子

平成27年度一般会計は6億円の赤字であり、身近な生活道路や公園の整備等山積みする市民要望にもっと積極的に応えるべきである。長年要望してきた住宅改修支援事業、橋りょう維持補修事業等の実施は評価する。

民間頼みの待機児童解消策で、入所待ち児童が97人もいる。保育に責任を負う姿勢がない。市と吉川松伏医師会との信頼関係が改善するどころか、溝が深まっている。個別契約で予防接種を受ける保護者の利便性がよくなったのも事実であるが、医師会の理解を得る努力が見受けられない。市民の健康を守る保健行政を支えてきたのも医師会の協力が前提であり、市と両輪だと考える。これからの地域包括システム、防災協定、学校医選任など待ったなしである。

決算では27万円余の公金等の紛失があった。事件が発覚したのは昨年の8月であり、1年間も隠していた。厳格な対応と公金の管理体制の改善策を実施すべきであった。対応が遅く、このまま認めるわけにはいかない。

総合振興計画に沿った事業の進展が見られた一年でした。懸案の、「新庁舎建設」「吉川美南駅東口整備」「中学校建設」は、市長キャラバン等、直接市民との意見交換を通じ見直しが図られ、道筋がつかまりました。

防災では、防災マップの全戸配布や資機材助成等、地域防災力の向上が図られました。治水対策では、共保・高久雨水ポンプ場の機械・電気設備の更新、木売却しの雨水貯留施設整備に着手しました。

子育て支援では、「子ども子育て支援計画」に基づく総合的支援体制が推進され、学童保育は、対象を小学校3年から6年生に拡大。民間保育施設整備では、整備補助で定員増を図り、待機児童の解消に繋がりました。

高齢者福祉では、第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画がスタートし、「健康・体力づくりポイント制度」の導入と県との連携による「毎日一万歩運動」を推進しました。

27年度決算に同意し、賛成討論と致します。

平成26年の消費税率引上げや輸入物価上昇の影響から、景気の回復力に弱さが見られた局面もありましたが、好循環の動きが続く中で、景気は緩やかに回復基調が続いたと認識しています。

このような経済状況の中、当市の平成27年度の当初予算は、義務的経費を中心に骨格予算が上程され、その後、6月補正予算にて政策的経費を織り込んだ予算編成でした。評価する主な特徴は、①プレミアム付き商品券発行事業の実施：30%のプレミアム率で発行総額3億8千90万5千円、換金額3億8千10万5千円、消費誘発額約1億1千万円で大きな経済効果がありました。②リース方式でのLED照明導入：初期投資を抑えながら、電気料金の削減や低酸素社会への貢献等を一気に推進。③乳がんの受診の拡充：希望者が予定の定員を超えている事態に、補正予算にて直ぐに対応。このように国や県からの交付金や補助金を活用した事業の展開を評価しつつ、今後も市民中心の市政運営に期待し賛成討論と致します。